

あさひ通信

未来への希望

発行人／朝日将貴

住所／弥富市五明二丁目36番地

TEL／(0567)65-1113

FAX／(0567)67-1192

Vol.01

議員としてスタートを切りました

日頃より朝日まさたかの議員活動にご理解、ご支援いただき誠にありがとうございます。期待を力に変え、未熟ながら、20年30年先の未来に責任感を持って活動していく所存であります。

今後も皆様と市とのパイプ役として、一つ一つ丁寧に声をお届けしていきたいと思っております。引き続きのご支援心よりお願い申し上げます。



“初議会で一般質問中”

弥富市議会3月定例会

初議会で一般質問

質問一「弥富創生事業」

今この中部エリアは「2027年」リニア開通までの間にどれだけ観光に力を入れるかどうかで、その後の未来が大きく分かれる分岐点であるという認識を持つこと。

(1) 人口減少社会に対応する危機感を持ったまちづくりへの意識向上が必要ではないか。

(2) 北部発展にこれから必要なことは観光である。質の高い観光資源を地場産業と結びつけて産業化し、内外にアピールをして、日本全国、さらに、世界中の人々が弥富市を訪れてくれるように取り組む必要がある。また、地方創生のメニューのつとて予算を確保できるように、国に強く要望を続けながら、長期に弥富市が発展し得る計画をつくる必要がある。

弥富市の地場産業といえば、もちろん金魚。その金魚の水族館、題して「金魚アカリウム」(爆買いできるショッピングセンターや、外国人

にも人気な飲食店街を併設)のような観光施設を、駅からも近く、そして弥富インターからもアクセスがしやすいエリアの土地を有効活用し、観光施設を早期につくるべきだと考える。

(3) 南部地域において、住みよい環境に一番必要なことの一番は鉄道を通すこと。

(具体的には、あおなみ線延線)飛島村、木曾岬町と名古屋港隣接自治体が一体になって、強く要望し続けるべきだと考える。二次的にはきんちゃんバスの有効活用が求められる。南部から弥富駅、海南病院に至るまでの全てのバス停を通過する急行バスを整備して、直線的に、かつ朝夕の時間帯の本数を増加するべきである。朝、忙しい子育て世代への環境整備の観点からも必要であると考え。

質問二「マイナンバーカード」

使用する場所が無ければ誰も作らない

(1) 仮庁舎への分散移転をすることで、市民サービスの煩雑化が予想される。煩雑化を緩和する意味も含めて、マイナンバーカードを利用し、コンビニで住民票等がとれるよう、弥富市も取り組む絶好のタイミングである。結果として、ゴールデンウィークに間に合わないとしても、しばらくの期間、市民に御迷惑をおかけする訳で、早期に取り組むべきだと考える。

